

## 2007欧州視察特集

2007年11月8～18日の11日間、(社)日本パレット協会主催の欧州物流視察に参加し、ポルトガル、スペイン、フランスの各地でパレットの製造工場及び地域に触れた視察情報をお伝えいたします。

### 目次

●PLASTIDOM社	2
●Aglolak社	3
●beynel社	4
●CTBA	
～木製品に関する試験場～	5
●ヨーロッパ紹介	
～最後にちょっと一息～	6

表紙の写真、ポルトガル・リスボンのテージョ川岸にある、大航海時代を記した記念碑「発見の Monument」です。かつてこの港より多くの船が新大陸等を求めて、大海原へと出航していきました。各々の人物には、エンリケ航海王子を先頭にヴァスコ・ダ・ガマやマゼランなど東西合わせて30名のポルトガル人の像があります。

私たちもここから、物流と言う大海原へ出航の意味を込めて、表紙に記念碑を飾りました。





# PLASTIDOM社 (プラスティドゥム)

## ポルトガル最大級の プラパレメーカー

ヨーロッパはプラスチックパレットの普及率は非常に少なく  
ここ DOMPLEX 社では年間で約 50,000 台の生産しか行われていない



ポルトガルではプラスチック製品メーカー PLASTIDOM(プラスティドゥム)社のグループ会社であるDOMPLEX(ドゥムプレックス)社へ訪問。1959年に食品器材から創業、現在の物流に関するパレットやボックスの生産まで至った。ヨーロッパでは木製パレットが主流の為、プラスチックパレットの普及はまだである。こちらでも年間で約5万台の生産。再生樹脂は一切利用していない。理由としては、パレットへの再利用と言う考え方が無いようだ。

主に利用されているのは、やはり食品。次にアパレル関係だそうだ。DOMPLEX社が食品器材から創業の為、食品会社と多く取引しているとの事。日本のプラスチックパレット利用事情とは異なっているようである。



これは仮設事務所要の床材である。OA用のコード等を這わせる事を考えた設計。黒色だが再生品ではない。



パレット以外の取扱商品



張り合わせのプラパレがあるが、日本の張り合わせパレットと違い、ボルトで上下を止めている。普及率が低い為、製造技術に対しても伸びてはいないようである。再生樹脂の利用は無く、全てがバージン材のポリエチレン製である。





# Aglolak社 (アグロッカ)

## ヨーロッパ最大級 スペインの木製パレット製造会社

木製パレットの生産効率をとことん追求  
ヨーロパレット規格に特化



Aglolak社はスペインのバレンシア地方にあり、木製パレットを年間で約300万台製造している会社である。その内の60%はレンタル会社のCHEP社向けに製造。サイズは1,200×800と1,200×1,000の2種類。Aglolak社はユーロ規格に特化し、生産効率を追及。その結果製造ラインはチェップ社用に1ライン、その他用に2ラインと計3ライン。上面デッキのみ製造のライン1つ。1ラインには1～2人の材料補充人員がいるだけである。

Aglolak社中心に約70km圏内に50社のパレットメーカーがあり、このバレンシア地方だけで約1,000万台の木製パレットが製造されている。やはりバレンシアと言えばオレンジ。それ以外にもオリーブ等の農産物。又、粘土やタイル等建築関係の製品がこのバレンシア地方で生産されている為に、パレット生産が盛んな理由である。



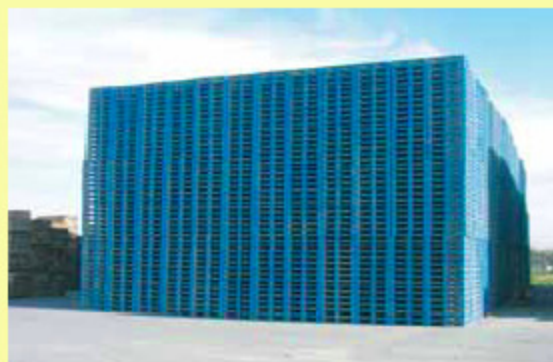
同一規格製造の為、オートメーションで木製パレットが製造されていく



同一規格製造の為、オートメーションユーロ規格以外のパレットを手打ちで作成



これは人工乾燥機です。3,000 台の木製パレットを乾燥出来、4 時間で含水率 20～22%まで可能。主に雨季と輸出用のパレットに使用しますが、乾季は非常に雨が少なく、打ち立ての木製パレットでも、駒なしで積み上げて自然乾燥が出来るほどです。



大量のチェップレンタルパレット





# beynel社

(ベインエル)

## フランスの パレットメーカー

製材から製品までの一貫工程

木製パレットだけではなく、物流・流通に対して総合的効率を目指す



フランスはボルドーにあるパレットメーカー、beynel社に訪問した。beynel社は、木製パレットを原木から製材し製造。年間で35万トン使用（製紙会社向けのチップ含む）し、パレットには年間で約15万m<sup>3</sup>使用。台数に変わると、ユーロ規格パレットで年間約60～70万台、レンタル向け（チップ・LPR）には年間で約100～200万台生産しており、日産で約12,000台の木製パレットを製造している。この工場規模で従業員はわずか210名（季節変動での臨時労働者が別に50名）。この数字は木材伐採やスチール製品等その他の部門も含めてなので、非常に効率的な事がわかる。先に紹介したAglolak社との違いは、パレット以外にも木箱やその他スチール製品を含めて約400種類取り扱っている事である。



木製パレット以外の取扱商品



日本とは桁違いのバラ釘・1ヶ月で数百ケース使用



人工乾燥機設備は常識的となっている



青いパレットは CHEP 社のレンタルパレット。赤いのは LPR 社のレンタルパレット。レンタルは CHEP 社が市場を独占してきたが、最近対抗で LPR 社がシェアを広めつつある。

### CHEP:Commonwealth Handling Equipment Pool

第二次世界大戦時に補給用で利用されていた木製パレットを利用して、レンタルを開始したオーストラリアのレンタルパレットプールシステム最大の会社。オーストラリアだけではなく、カナダ・メキシコ・南米諸国・ヨーロッパとシェアを拡大している。





# CTBA

CENTRE TECHNIQUE  
DU BOIS  
ET DEL'AMEUBLEMENT

## 木製品に関する試験場

CTBAは木製品(家具・建築材・パレット等梱包資材)に対して、強度や集積材に使用する接着剤の発癌性物質の有無を調査する会社である。

又、各メーカーがユーロ規格外でのパレット製造時に、最適規格とその強度と樹種を提案する機能も備えている。



ユーザーからの依頼に、即座に対応できるパレット設計ソフト。膨大な試験データを元に、積載商品の条件に最適な規格を提案し、図面も作成できる。日本の検査機関とはパレットに対する意識の違いが大きい。



この写真はほんの一例ですが、セメント会社から木製パレットの適正サイズと耐荷重検査の依頼を請けてテスト中の木製パレット。効率化追求の為サイズと樹種を選定し輸送効率とコストを追及。



近年多いのが耐震テスト。ヨーロッパは地震が非常に少なく、以前は無かった設備だったが、コンテナ船での輸送を想定したパレットの設計に役立っている。近年フランスのワイン製造ユーザーからの依頼が多いようだ。

## 街で見かけた物流

街角にあった木製パレット  
街の小さな化粧品店やスーパーマーケット店内に木製パレット



通りの隅にCHEP社のレンタルパレット(ブルー)があった。スチール製の物は、日本で言うロールボックスのような物である。店のすぐ横に置いてあり、回収を待っている。

スーパーマーケットの店内に、LPR社のレンタルパレット(レッド)が商品陳列棚代りに置いてあった。

今回の欧州視察で、Aglolac社やbeynel社の社長から教えられたことは、日本のパレット生産及び流通は少なすぎる。欧州・米国・中国は人口に匹敵するほどの流通量があると言う事と、パレットの製造及び販売は、生活に関わる物流や流通を、いかに効率よく行えるかを常に考えて取り組まれていると。各国でのパレットの位置付けは、決してバックヤード的な存在ではなく、人が生活するのに必要不可欠な物と認識した。



# ヨーロッパ紹介

## 最後にちょっと一息

### € グルメ



滞在中の食事は、ホテルの食事をキャンセルして、地元の美味しいものをいただいた。印象的だったのは、パリの街で日本食やラーメン屋が結構あった事だ。しかし味はちょっと……っという感じでまあ中には美味しい店もあるので全店が不味いとは言わないが。

### € カルチャー

ヨーロッパの信号は背が低い。写真の物は若干高い方だが、観光地にあった古い信号は人が前に立つと見えにくいぐらいの物があつた。レンガの写真だが、写真の物はトレドの街にあつた物だが、今も同じようなレンガで建築がされている。いかに地震が無いかを物語っている。聞くとところによると、震度2くらいで倒壊するそう。プーファウーの三匹の子豚である。

### € スポット



私としての見どころは、まずポルトガルにあるジェロニモス修道院。1500年代から存在する建物。次にヨーロッパの最西端ロカ岬。来訪証明書を購入。スペインのトレドも歴史的建造物が多く立ち並ぶ街である。フランスはパリ全体が見どころである。



### 編集者の須貝調査員よりコメント



列車がストで困っている編集者

欧州パレット事情視察は、パレットや物流に対して、企業は人が生活すると言う事に対してどうすれば効率的かを優先で行われている。その姿勢に日本との違いを痛感した。普通の旅行では味わえない経験である。しかし、1ユーロが¥170の時にいったので、非常に物価が高いイメージがあつたこの視察団で御世話になった方々に深く御礼を申し上げる。

**upr** [ 選べるパレット 探せるパレット  
レンタル/パレットの未来を切り拓く ]

ユーピーアール株式会社

■東京本社 〒105-0004 東京都港区新橋6-9-4  
フロンテック新橋スタジオビル3F  
Tel : (03) 3435-9141 Fax : (03) 3435-9149  
■宇都本社 〒759-0134 山口県宇都市善和川東541-12  
Tel : (0836) 62-1112 Fax : (0836) 62-1417  
■営業所 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・  
山口・福岡

UPR Corporation URL: <http://www.upr-net.co.jp>